

ほんよも

No. 008

桂陽高校図書室キャラクター
「ほんよも」

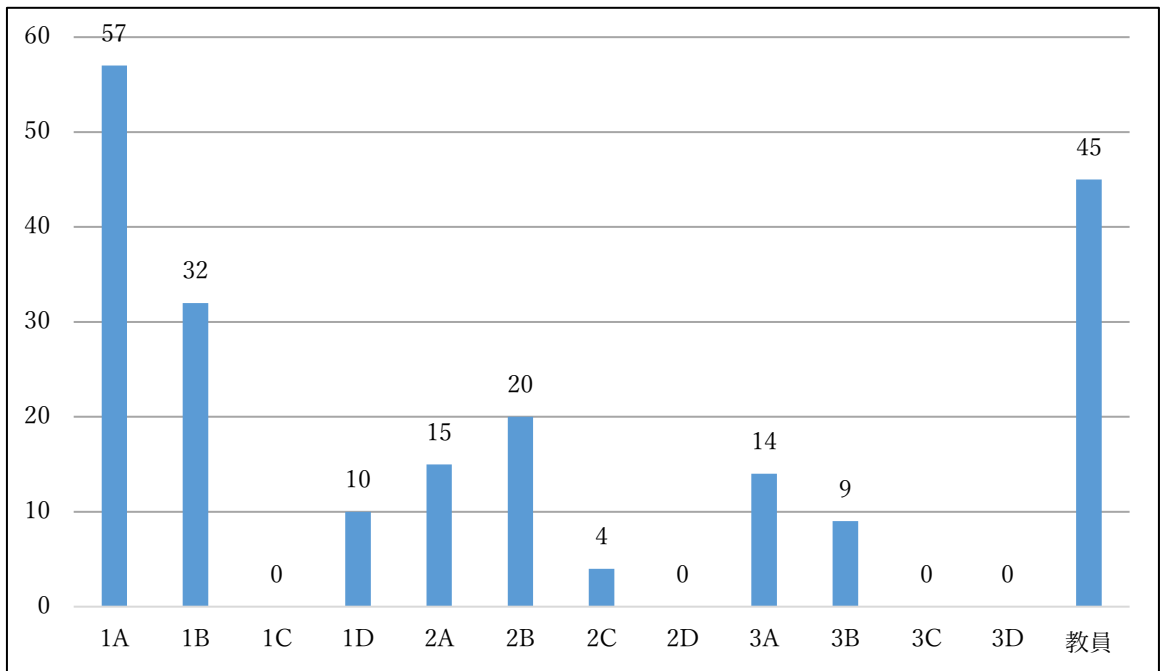
冬休みは本を読もう！！

冬休みが近づいてきました。どうせコロナで外出できないこの冬休み、本でも読んでみてはどうでしょう。コタツに入ってミカンでも食べながら活字の世界にひたるのは極楽というものです。



【図書室トピックス】

4月から今までのクラス別の貸し出し冊数はこのようになっています。1A と1B がかなりの冊数を借りています。2、3年生もぜひ！



～婚活＋恋愛＋ミステリー小説～

ごうまん

『傲慢と善良』 辻村深月

内容・あらすじ

主人公は西澤架と坂庭真実、という二人の男女です。二人は婚活アプリで知り合い、結婚も決まって一緒に住んでいました。

ある日の夜、架が家に帰ると真実の姿がありません。翌日になっても連絡がつかず、どうやら失踪したらしいことがわかります。真実は過去にストーカー被害にあっていました。架は彼女の失踪にこのストーカーが絡んでいるに違いないと思い、警察にも調べてもらいますが、一向に手がかりがつかめません。

警察が手を引いた後、架は自力で真実を探しますが、やはり行方はわかりません。しかし3ヶ月後、架は女友達から意外な事実を聞かされ、愕然とします。その事実を聞いて架も「あること」を疑い、確かめます。ここで物語は真実目線の第2部に移り、失踪の理由が明らかになります――。



川口先生の感想

はっきりと「婚活」がテーマの作品なので、婚活事情がかなり細かく書き込まれています。こんなに大変なものだとは思いませんでした。まるで就活のようです。

『傲慢と善良』というタイトルは、作中に出てくる結婚相談所を運営している女性の言葉に由来しています。この女性がすごくて、見た目は上品な老婦人なのですが、婚活、そして婚活をしている男女について、穏やかにズバズバ言います。そしてそれがいちいち的を射ています。この人のセリフを見るだけでも、この本を読む価値があります。みなさんも将来に備えてぜひ読んでほしいと思います。

そして何と言っても気になるのは架と真実の行く末。私は「これはもう別れるしかないだろう」と思ったのですが……。婚活と恋愛とミステリーが融合した、とても引き込まれる小説でした。